

# 報告

## 第7回瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会

令和3年9月30日（木） ZOOM 開催

第4期計画の確定に向け、第7回策定懇談会を開催いたしました。今回は、with コロナでの新たな試みとして、オンラインでの懇談会となりました。委員の皆様からは、最終案についてのご意見やこれまで策定に携わってのご感想をいただきましたので、一部を紹介します。

### 【最終案についてのご意見・策定に携わっての感想】

#### 全体

- ・「瀬谷区地域福祉保健計画」は、サブタイトルを「暮らしやすいまちづくりの計画」とし、“みんなでつくる みんなのしあわせ”という理念で、親しみやすく表現された。
- ・自分が気づかないだけで、地域のみなさまとおたがいさまで何らかの形でつながっていると知った。身近で知りたい基本目標のページは、イラストとやさしい言葉で、誰もが読みやすく、また地域と行政の連携した取組は、安心して暮らしていく手助けになり得ると感じた。
- ・基本目標の3つの柱は、まさに今大切にしたいことがしっかり表現できていると思う。地域の力が試されるときに、この計画が完成したのはとても大きな意味のあることだと改めて感じた。
- ・地域福祉保健計画の説明の記載が最初のほうが良いと思う。第2期、第3期も先に記載されており、地福計画の内容及び対象者がわかり、内容を理解しやすいと思う。
- ▶幅広い世代に手に取ってもらいたい、読みやすい計画に仕上げていきたいというコンセプトで冊子を作成しています。地福計画に関する説明を冒頭に記載すると、そこで読むのをやめてしまう可能性があるため、最終案どおりとします。
- ・概要版の裏面に、地域福祉保健計画の説明の記載を入れてほしい。
- ▶記載します。また、本冊が閲覧できるように、瀬谷区のホームページの検索案内やQRコードも掲載します。

#### 子ども

- ・第4期は、こどもの居場所や子育て世代への支援の視点が多く盛り込まれているのが良い。
- ・読みやすく、わかりやすく「子ども」「居場所」というキーワードが入ったのが良い。



## 障害

- ・第3期は、障害の取組を広く行っていただいた。第4期も、第3期の経験を活かし、さらなる推進をしたい。計画が、障害の各施設でも広く周知できるように取り組みたい。
- ・「障害や年齢の有無に関係なく」「みんな違って当たり前」のワードが掲載されたことを嬉しく思った。

## コロナ

- ・コロナの影響で、楽しみにしていた活動や行事がなくなり、居場所なく、さみしい思いをしている人がいる。しかし、この状況を変えていけるのが、地域福祉保健計画の取組である。
- ・新型コロナウイルスの要素が新たに加わったのが特徴である。共存しながら、計画を進めていかねばならない。

## SDG s

- ・SDG s がコラムに取り上げられたので、地域の活動においても意識する必要がある。
- ・学校でも「SDG s」の達成を目指した教育を行っている。瀬谷区で育つこども達が自分の故郷を支え、将来の日本を背負って立つ人材に育つよう、地域の皆様との連携を大切にしながら学校教育を進めたい。

## 推進

- ・これからは計画の広報活動を進め、区民に広く浸透して、参加できるようになってほしい。
- ・立派な計画ができたが、これは暮らしやすいまちづくりのゴールではなくスタート。
- ・全域計画の実行が地区別計画の取組を支え、地区別計画の実行が各地区の課題解決になるとともに、全域計画の達成につながると思う。
- ・基本目標を念頭に、各地区の活動が進められる中で、区・社協・ケアプラとの連携が成果を上げるポイントであると感じた。

計画策定にあたり、みなさまから、たくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきありがとうございました。

本計画は、12月8日（水）に公表となります。地域情報誌や広報、区ホームページ等で掲載をするとともに、区役所、区社会福祉協議会、各ケアプラザ等にて配布も行っております。是非、ご覧ください。

みんなで「暮らしやすいまちづくり」を目指しましょう。

